

## 生ごみの分別収集・資源化に関する制度設計（案）についての市民説明会 制度設計（案）目次順意見

制度設計（案）目次	意見の概要
2 生ごみ資源化の意義	
(1) 排出抑制推進施策の優先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロスを出さないよう推奨するのであれば、具体的な対策について資料に盛り込んだほうが良いのではないか。</li> <li>・キューロは場所をとるため、マンションでは使えない。</li> </ul>
(2) 環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この説明資料では、生ごみを分別することに対しメリットを感じられない。「地球温暖化」と抽象的に表現するのではなく、「孫の代には夏は毎日 40 度を超え、異常気象による被害も増える」などのように自分事として捉えられる表現にしてはどうか。</li> </ul>
4 家庭からの生ごみの分別排出	
(1) 生ごみの定義	
(2) 対象とする生ごみの範囲	<p>生ごみの範囲は、実生活で出ているものを生ごみに含めてもらいたい。市民に無理のない範囲で始めないと制度自体が進まないと思う。</p>
(3) 生ごみの排出方法	
(4) 手数料の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃やすごみ用指定ごみ袋と生ごみ用指定ごみ袋に価格差があると、安い生ごみ用指定ごみ袋に燃やすごみを入れて出す人が増え混乱するのではないか。</li> <li>・生ごみ用ごみ袋の値段を半額にすると、安い方の生ごみの袋に燃やすごみが混入しないか。</li> <li>・金額に差をつけると、安い方の生ごみ用ごみ袋に燃やすごみが混入するという懸念が発生するのではないか。</li> <li>・手数料収入約 1 億円の用途として、袋の作製費用や販売手数料に約 4,000 万円を充てている。今後、生ごみ用ごみ袋も作製するとなると手数料収入の多くが袋の諸費用に充てられてしまう。袋一枚に対しいくらの費用がかかっているのか。袋を安くしても、諸費用で相殺されてしまうのではな</li> </ul>

	<p>いか。それであれば、袋を無料化してもよいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政効果が見込めるのであれば、指定ごみ袋を安くするなど市民に還元する形にしてもらいたい。</li> <li>・生ごみ用ごみ袋は半額にするとあるが、安くした費用は市民が税金で負担しているだけなので安くする必要はない。袋が安くなったら生ごみ用ごみ袋に燃やすごみを入れる人が増えるのではないか。</li> </ul>
(5) 手数料徴収の方法	
(6) 指定ごみ袋の種類・形状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市で想定している袋のサイズでは、大きな生ごみ（キャベツの葉、トウモロコシの芯）が入らないのではないか。サイズについて再度検討してもらいたい。</li> <li>・生ごみ用ごみ袋のサイズについて、もう少し小さい袋を作製してもらいたい。</li> <li>・1週間で5リットルの袋1つ程度しかごみが出ないため、生ごみの分別収集が始まったらさらに小さい袋が欲しい。小さくするとコスト高になるのはわかるが、袋が小さくできないなら生ごみ用の密閉容器をステーションに設置する等で生ごみを家に溜めずに済む方法を検討してもらいたい。</li> <li>・キエーロを利用しているので、今でも燃やすごみが5リットルも出ない。これから生ごみの分別が始まると、さらに小さい袋が必要になるため用意してもらいたい。</li> <li>・生ごみも燃やすごみも5リットルの袋では大きすぎるため、検討願いたい。貝殻は燃やすごみで処理した方がよいのではないか。自家処理している人は、生ごみで出すものが貝殻や魚の骨だけになってしまう。メタンガスの発生を抑える手段を考えてもらいたい。PRもお願いしたい。</li> <li>・一人暮らしだと生ごみがさほど出ない。5リットルの袋では大きすぎる。</li> <li>・生ごみ用ごみ袋は5リットルより小さな袋を作ってほしい。</li> <li>・生ごみ用ごみ袋は5リットルより小さな袋を作ってほしい。</li> <li>・指定ごみ袋について、袋式とロール式の2種類を販売してほしい。</li> </ul>
(7) 販売方法	
(8) 手数料の減免	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての非課税世帯を減免対象にして、生ごみと燃やすごみの指定ごみ袋の手数料を同じ金額にし</li> </ul>

	てはどうか。
5 収集・運搬	
(1) 収集方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみ分別が始まるとカラスの被害が悪化すると思われる。対策もしっかり考えてもらいたい。</li> <li>・生ごみ分別収集が始まるとネットボックス内で出す場所を左右に分ける、生ごみ用の容器を用意する等の工夫が必要になる。なるべく今のネットボックスをうまく活用できる工夫をお願いします。</li> <li>・新宿地区は、ほぼネットボックスのステーションのため、豊橋市のように左右に分けるやり方は無理だと考える。収集日を変えるなど工夫してほしい。</li> <li>・カラスよけネットではカラスの被害が酷い。ネットボックスも下の隙間からカラスがつつけないように工夫してほしい。</li> </ul>
(2) 収集回数	
(3) 生ごみの運搬	
6 生ごみの資源化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕地面積を考えると葉山は農家があるが逗子は農家がない。家の庭も狭くなっている。堆肥化しても需要が少ないため、逗子市にメリットはないように感じる。</li> <li>・葉山町に設置する生ごみ資源化処理施設は、メタンが発生しないようにしてもらいたい。</li> <li>・キエーロからメタンが発生するという論文はない。だからメタンは発生しないとしてよいか。原理的には、嫌気性醗酵から CO2 が3つ、メタンが3つ発生する化学的な考え方をすべき。将来逗子市が環境負荷都市になるのか環境貢献都市になるのか。鎌倉市、逗子市、葉山町は、広域化のために組んだのではないのか。</li> </ul>
7 広域処理による財政効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな財政効果額ではなく、袋を有料にしたことに伴う財政効果額が知りたい。</li> </ul>
8 広域処理による環境保全効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キエーロのように土に埋めるものはごみが無くなる。土壌処理すると、主に二酸化炭素とメタンになる。本当にこれは気候変動に効果があるのか。悪い効果が大きいのではないか。メタンは二酸化炭素の25倍（経済産業省数値）の温室効果ガスが発生する。土壌処理は、ごみが無くなるのは素晴らしいが、地球温暖化につながる。メタンを発生させて、子ども、孫の世代までツケを残してい</li> </ul>

	<p>いのか疑問だ。これを大きくした葉山町の資源化処理施設では間違いなくメタンが発生するが、葉山町はメタン発生量を測る計画はないとのことだった。豊橋市は、メタンガスを燃やし発電している。ごみからエネルギーを作り、エコシステムに回している。逗子市は気候変動を後押しするようなシステムを作って、目の前のごみを減らすのか。行政として本当によいのか。素人の考えで作られたキエーロも、行政が補助金を出してよいのか。環境保全効果（説明資料の25ページ）にメタンの言及がない。豊橋市、長岡市、北海道の一部のようにガス化して発電に回した方がよいのでないか。岩手県久慈市ではエタノール化している。このようなエコシステムが鎌倉市、逗子市、葉山町が一体となればできる。逗子高校跡地など土地がありながら、気候変動を後押しするようなシステムを作るのはどうなのか。</p>
9 事業系ごみの取り扱い	
10 スケジュール（案）	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鎌倉市が埼玉県寄居町で生ごみ処理をしているのは把握しているか。</li> <li>・ 乾式メタン発酵の施設に入ったものは生ごみの他に燃やすごみも含まれている。単純に1割程度しか資源化できないことを理由に検討しないのはおかし</li> <li>・ 乾式メタン発酵は汚れた紙も資源化でき、分別も不要。また副産物は使い勝手の良い電力。それを否定する材料が欲しい。</li> <li>・ ごみが循環していることを市民に理解してもらうため、チラシ等の広報に力を入れてほしい。</li> <li>・ 現状でも分別を守れていないステーションは、生ごみ分別が始まるとさらに荒れてしまう。広報活動を充実させ、周知を徹底することが重要である。</li> <li>・ ボランティア清掃用ごみ袋に散乱したごみを入れて出したが、使い方が違うという貼り紙がされていた。散乱ごみを掃除したものですというメモを貼ったら持って行ってもらったが、回収しないということはやめてもらいたい。</li> <li>・ 生ごみの違反ごみを収集しないのは、街の美化のためにもやめてもらいたい。</li> </ul>

- |  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ボランティア清掃用ごみ袋を生ごみ用と燃やすごみ用と2種類作製する必要があるのではないかと。また、最近ボランティア清掃用ごみ袋が回収されないことがある。考えてもらいたい。</li><li>・亀ヶ岡神社脇のごみステーションのカラス被害が酷い。何か考えていただけないか。</li><li>・ごみステーションにナンバーを付け、出す人の範囲を決めて欲しい。</li><li>・高齢者は今でも分別が難しいのに、さらに細くなると余計に分別できない人が増える。マンションごとに説明会を開催するなど、もっと細かい地域で説明会を増やし周知してもらいたい。</li><li>・飲食店やスーパーなどに食べきりサイズや骨のない商品を増やす等の取組も必要。食品ロス削減には事業者への周知も重要である。</li><li>・生ごみ分別は市民の協力がとても重要である。生ごみゼロ週間やごみを考える日などのイベントを企画し、市民に対し市がアプローチしていくことも大切だと思う。</li></ul> |
|--|---|